

2021年6月4日
R1 2021年8月20日
日本原子力発電（株）

敦賀1号機 固体廃棄物移送用キャスクについて

敦賀発電所1号機で使用済制御棒等の事業所内運搬に用いている固体廃棄物移送用キャスク（以下、「固廃キャスク」という。）について整理した結果は以下のとおりである。

【工認設備か否か】

固廃キャスクは、廃棄設備のうち、固体廃棄物貯蔵設備のうち、固体廃棄物移送用キャスクとして工事計画の認可を得ている。本文記載内容は添付-1のとおり。

【性能維持施設か否か】

固廃キャスクは廃止措置計画本文六に記載される性能維持施設とはしておらず、保安規定の「その他自ら定める設備」としている。

なお、固廃キャスクについては、今後使用済制御棒等処理するにあたって、前準備として使用済燃料池からサイトバンカプールへの移動等に用いる可能性はあるが、使用時期の詳細については未定である。

なお、現在敦1に残存している使用済制御棒の物量は以下のとおり。

| 保管場所 | 保管本数 |
|----------|------|
| サイトバンカ | 131本 |
| 使用済燃料プール | 42本 |
| 最終炉心分 | 73本 |
| 合計 | 246本 |

【点検についての考え方】

固廃キャスクは、平成21年度に固体廃棄物の移送作業に用いて以降、至近の使用予定がないことから定期的な点検は実施していない。

過去に固廃キャスクを使用していた時期においては、外観点検及びリークテスト等の機能検査を実施していた。

保安規定に保守管理が導入されてから、固廃キャスクについては、サイトバンカ設備の系統機能に必要な保全対象設備に整理し（添付-2）、保全重要度設定フローに基づき、

予防保全（機器保全重要度 C）とし、定期事業者検査を実施していた（添付－3，4）。

固廃キャスクは、2009年（平成21年）の移送作業に用いたが、2012年（平成24年）に1号機の運転計画が未定となったことを受け、使用済制御棒が発生せず固廃キャスクを用いた移送作業（原子炉建屋→サイトバンカ）もないことから、保全重要度設定フローに基づき、事後保全（機器保全重要度 D）とした。（添付－5）

2017年（平成29年）以降、1号機が廃止措置となった時点においては、固廃キャスクを廃止措置期間中も現状のまま維持することとし（添付－6）、保全重要度については、廃止措置期間中の保全重要度設定フローに基づき、事後保全（機器保全重要度 F）を継続し（添付－7）現在に至っている。

添付－2：系統機能整理表（サイトバンカー設備）

添付－3：保守管理業務要項（H20_保全重要度設定フロー）

添付－4：第33保全サイクル点検計画

添付－5：保守管理業務要項（H24_保全重要度設定フロー）

添付－6：廃止措置期間中系統運用検討書（サイトバンカ）

添付－7：敦賀発電所1号機 保全計画検討マニュアル（廃止措置期間中の保全重要度設定フロー）

【今後について】

固廃キャスクについて、使用予定が未定のため「その他自ら定める設備」としていたが、弊社内で使用要否の検討を継続した結果、今後は使用せず解体待ち設備とする方針である。

以 上

VII 廃棄設備

1. 廃棄物貯蔵設備

○ 固体廃棄物貯蔵設備

固体廃棄物移送用キャスク

(今回新設)

| | |
|---------|--------------------|
| 種 類 | 円筒形 |
| 容 量 | 1.4 m ³ |
| 主 要 寸 法 | |
| 内 胴 内 径 | 656 mm |
| 外 胴 外 径 | 1,100 mm |
| 全 長 | 5,060 mm |
| 主 要 材 料 | |
| 内 胴 板 | SUS304 |
| 外 胴 板 | SM41C |
| しゃへい材 | 鉛 |
| 個 数 | 1 |

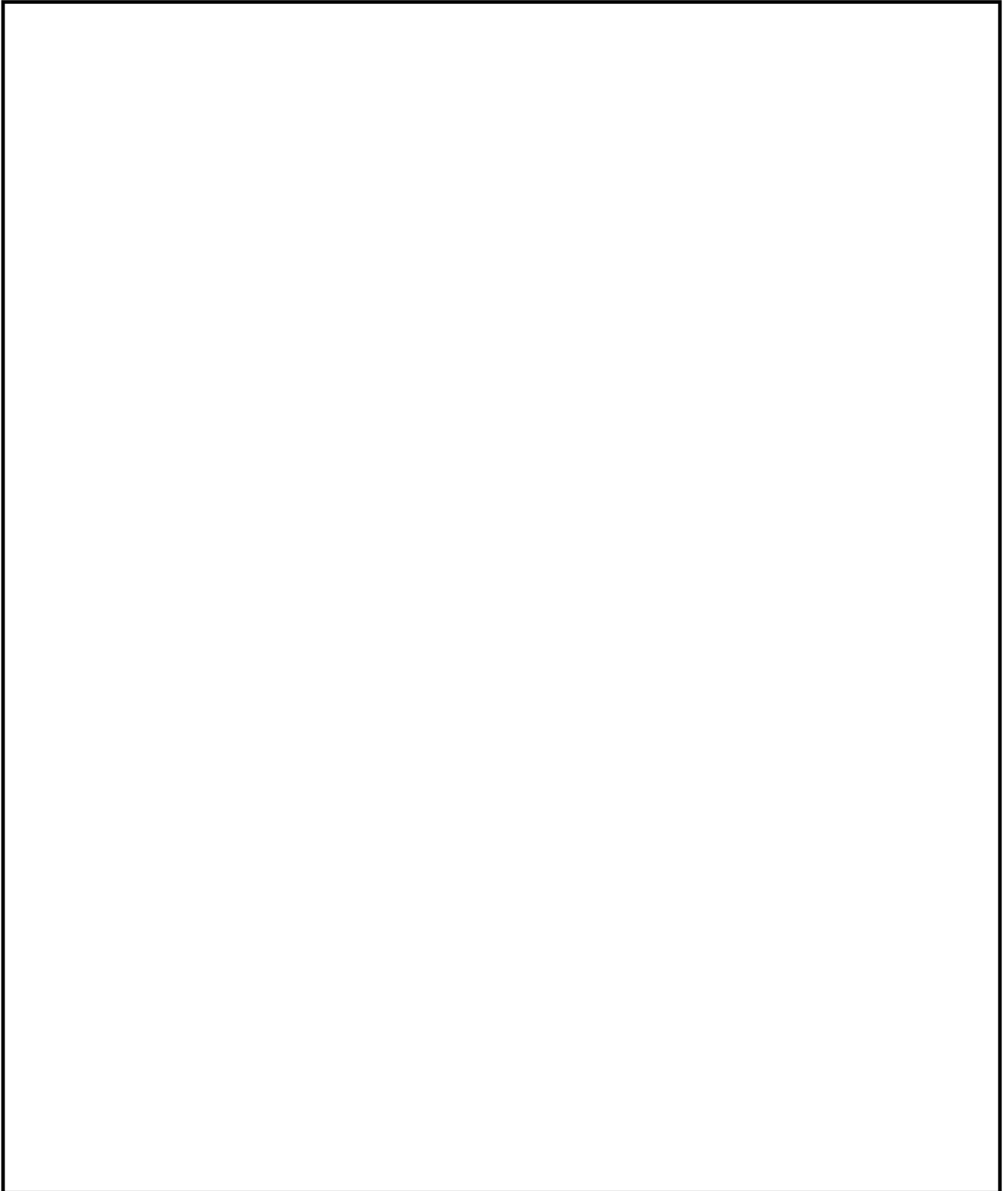
Sheet2: 系統機能整理表

| | |
|--------|-----------------------|
| プラント名: | 日本原子力発電株式会社 敦賀発電所 1号機 |
| 系統名: | <u>サイトバンカー設備</u> |

| |
|--|
| |
|--|

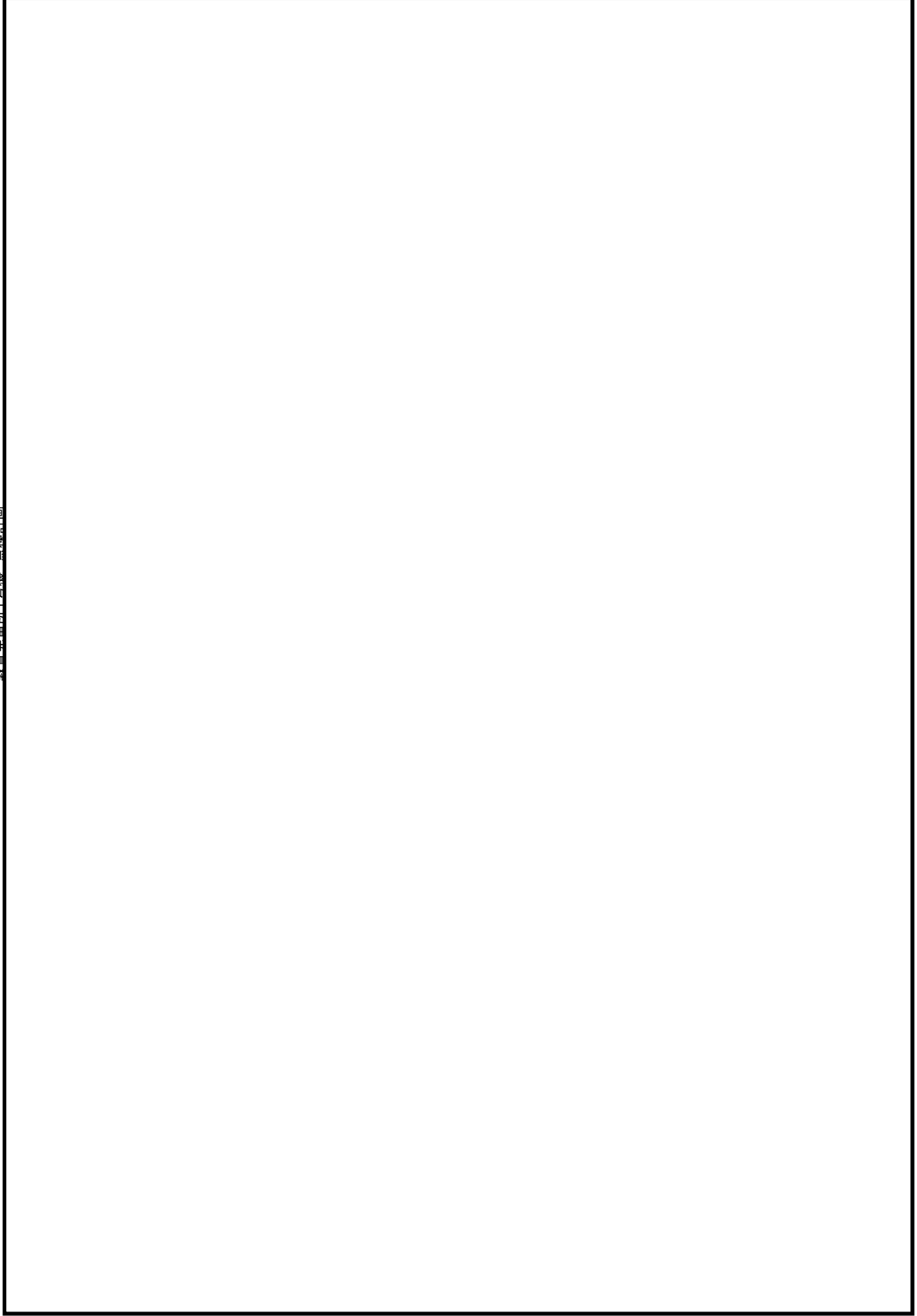
別図第 3 保全重要度設定フロー（第 9 条関連）

東海第二発電所，敦賀発電所保全重要度設定フロー



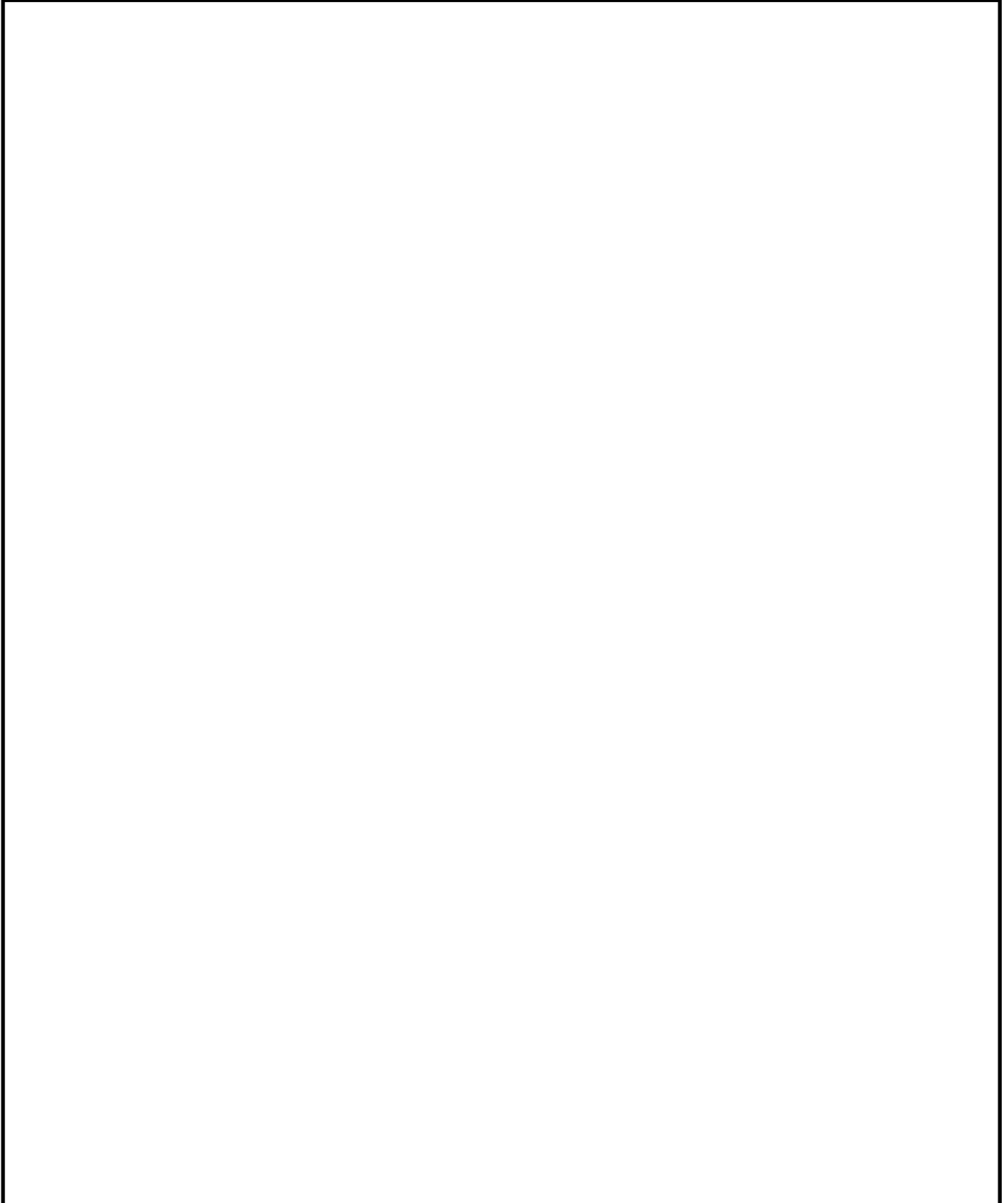
敦賀発電所1号機
点検計画
(第33保全サイクル)

敦賀登壇所1層機点檢計画

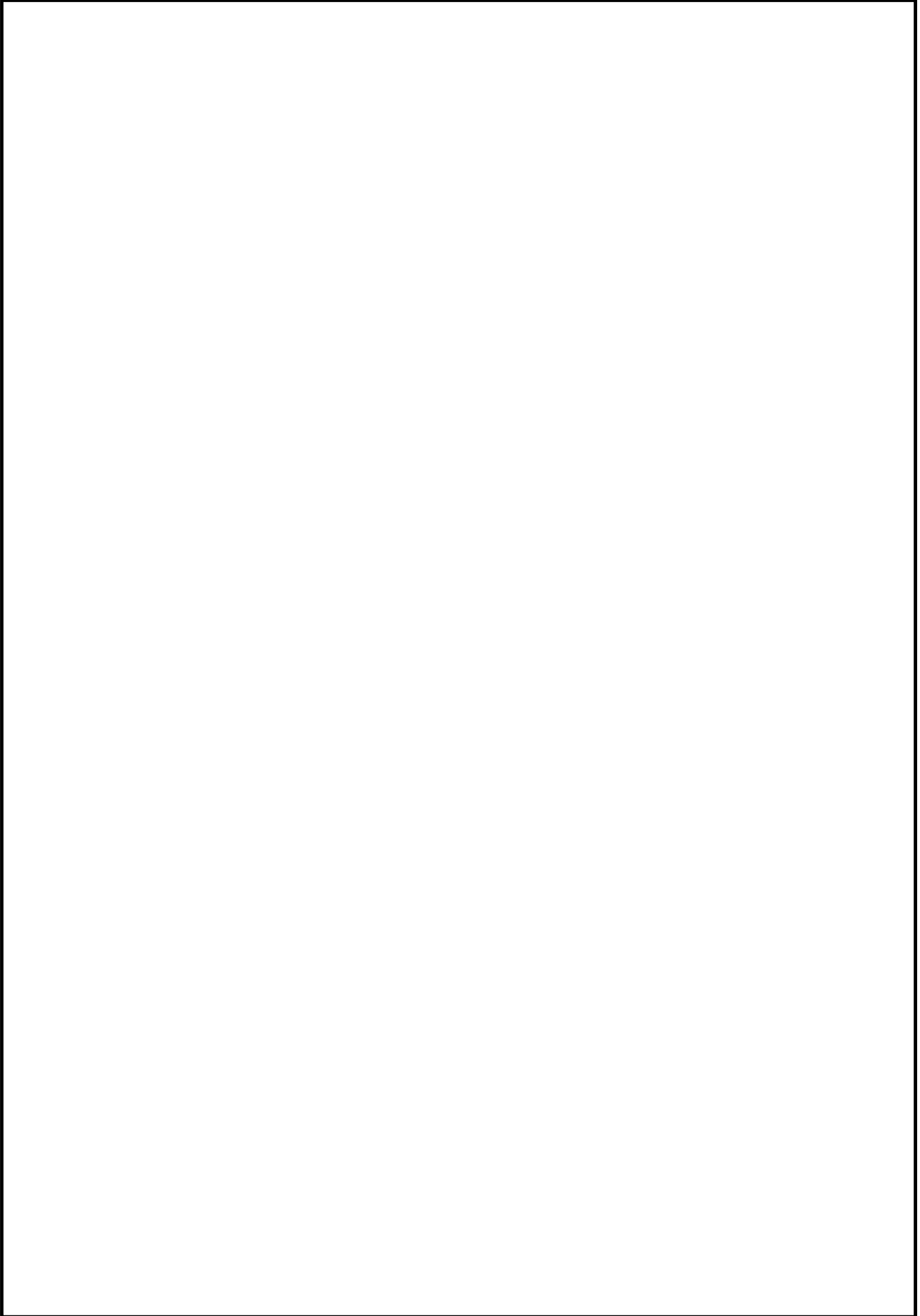


別図第3 保全重要度設定フロー（第9条関連）

東海第二発電所，敦賀発電所保全重要度設定フロー



敦賀発電所1号機 廃止措置期間中系統運用検討書



廃止措置期間中の保全重要度設定フロー

